

鷹巣町 入学おめでとう大会!

主催★鷹巣町★秋田魁新報社★ARS秋田放送



元気に校門をくぐるのは 町内で343人です

2月28日中央公民館で、新入学児童をむかえて「入学おめでとう大会」が開かれ、お祝いにかけつけた、お兄さん、お姉さんの遊戯や歌にリズムを合わせるなど早くも一年生気分でした。

両親の愛情と希望にはぐくまれながら、健やかに成長し、4月にランドセルを背負って元気に校門をくぐる児童は、男180人、女163人、計343人となっています。

人口と世帯数

住民基本台帳による)

2月28日現在	(前月比)
総人口 25,478人	(11人増)
男 12,438人	(増減なし)
女 13,040人	(11人増)
世帯数 7,214世帯	(7世帯増)

三月定例町議会 出川町長行政報告



転作は四七四ヘク

水田利用再編対策の五十六年度転作奨励金については、十二月十五日付で総額二億九千六百四十四万円を各農家に支払いを完了。また、水田利用再編対策事業補助金推進特別交付金八千四百七十四万四千円の支払いも完了しました。

五十七年度転作配分に関しては、農協組合長会、水田利用再編対策協議会の協議を得まして、二月十六日まで地区説明会を開き、各集落別の農家へ四百七十四分の仮配分を終わりました。

五十六年冷害に係る天災資金、自作農維持資金および冷害対策資金の計三億五千二百萬円の配分を行いました。

農用地利用増進対策事業では、緑ヶ丘地区に建築中の担い手センターは年度内完成の予定であります。

五十七年度産米の限度数量
は、十九万二千七百七十一俵（う

57年度産米限度数量
は、一九〇、二七一俵
るち米十八万八千四百七十一俵、もち米千八百俵）の配分をうけ、農家別配分は四月上旬の予定であります。



本年度葉たばこの収納状況は、耕作戸数三十三戸・二千九百八十二万四千円で、昨年より七百五十六万円の減収となっております。

災害復旧事業については、五十五年災は全体で三十二カ所、事業費千八百七十四万五千円、五十六年災は地区数四十三カ所・事業費千七百四十四万二千円の内、五十六年度に十七カ所・五百三十五万五千円が完了しており、残地区についても五十七年度（二カ年）で事業を完了の予定であります。

また、農業用施設については、五十四年災地区総数二百三カ所・事業費一億七千七百八万三千円、五十五年災地区総数九十三カ所・事業費四千四百二十五万五千円が全部完了。五十六年災九十五カ所・事業費一億六千二十万円のうち、三十六カ所・事業費六千五百五十七万七千円が年度内に完了し、残地区については五十七年度および五十八年度の工事となります。

林業関係では、林業構造改善事業で五十五年度より二カ年連続で工事の施工をした林道柵木借線は、本年度分延長九百八十二メートル・五千四百四十四万四千円で工事が完了の予定であります。

林道事業においても、峰越連絡林道奥見内線の危険箇所

五十七年三月定例町議会は、三月九日から十九日まで十一日間の会期で開かれております。議会は、三月九日に町長の行政報告と、向う一年間の施政方針、提出議案に対する大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託。十日には休会、十一、十二の両日は一般質問、十三日から各常任委員会が開かれており、三月十九日に本会議を開いて閉会することになっております。

三月定例町議会で出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。（なお施政方針、決定した議案については四月一日付け広報で報告します）

の改良工事は延長二百六十メートル、事業費三百萬円で完了。また、果樹事業で施工しております奥見内線の五十六年度分延長九百四十一メートル、事業費六千五百七十七万七千円、また基幹林道大摩当線の五十六年度延長千六百九十七メートル・事業費九千六十五万七千円も完了しました。

町有林の
町有林の整備については、冷害対策事業として雇用促進を図るため、間伐事業四〇〇源（右エ門沢）百五萬円で終了。

間伐実施
また間伐促進対策事業で中小又沢町有林四〇〇源を実施中です。林業振興については、二千〇〇の計画樹立を図りました。

歳末たすけ合いに 二三四万円の善意

五十六年歳末たすけ合い募金は、二百三十四万九千円余りのあたたかき善意が寄せられました。

本年は在宅ねたきり老人、重度心身障害者、低所得世帯等に対する見舞金、社会福祉施設への配分などを中心に、

十二月二十六日までに家庭奉仕員、民生児童委員が各家庭を訪問しながら贈りました。

老人健康診査

老人健康診査事業は、二月十五日から十九日まで町内十三六七人受診 医療機関で、老人が受診しやすいように選択方式により実施しました。

受診者は三百六十七人で、精密検査対象九十人（二四・五％）となり、若年老人の健康診査の必要性があらためて認識されました。

交通安全については、一年を通して関係機関、団体の積極的な協力のもとに、町民総ぐるみの運動が展開されました。しかし、年毎に増える交通量、免許人口に相関して、事故の減少には至っていません。

消防施設については、四百十九万円で発注し工事中であった防火水槽二基（川口、高村岱）が竣工しました。

ガン死亡が増加

脳卒中、貧血追放、母子の健康増進、ガン追放を目的とし、地区検診の推進、予防医療を中心とした健康相談、生活指導等、共同保健計画を図ってきましたし、健康づくり推進協議会においても検討され、受診率が向上しながらガンの死亡などが増えている現状をふまえ、検診の必要性、食生活の見直しなどが検討されました。

五十六年度三歳児むし歯のない子の検診では、三百二十七人中一五・三％に当たる五十人が表彰されました。

出稼ぎ激励

会を開催

出稼ぎ者援護対策の一環として、去る一月四日中央公民館において、第五回出稼ぎ者激励懇談会を実施しましたが、約二百人の参加者がありました。

また、消費者と業者が一堂に会し、共に学び、協力して町民生活の向上を図ろうと、去る二月十七日中央公民館において、国民生活センター調査役・水野和男氏の「生活の安全性について」の講演会を実施しましたが、約百二十人の出席がありました。

五十七年二月末現在の土地買収は、道路敷地関係で一萬

八千六百六十五平方メートル、集荷センター敷地九千八百九十二平方メートル、公園敷地一萬六千六百平方メートル、合計三万九千五百五十七平方メートルを取得いたし、集荷センター敷地九千八百九十二平方メートルについては売却し、所有権移転の登記も完了しております。

また未登記の処理については、五十七年二月末までに所有権移転二百四十四筆、分筆二百二十三筆、相続三十一筆、地目変更三十九筆、抵当権抹消四十六筆、保存および表示変更七十二筆、合筆二十筆、合計六百四十五筆を処理いたしました。

鷹巣小学校用地については目下交渉中ですが、代替地の要請などあり、たぐいまれな物色中でありま。

町営住宅

二棟完成

建設課関係では、五十六年度に実施した工事のうち、道路改良工事は坊沢、前山線はか十三カ所、延長二千六百七十二メートルで、改良済延長は十一万六千六百五十九メートル、改良率約五三％となりました。

舗装工事は、舗装延長が十一万二千五百七十七メートルとなり、舗装率は約五一％となりました。

橋梁関係は、二橋の永久橋化と、一橋の改良に着手しました。

排水整備関係では、学校通り線の浸水を解消するため、古堰排水路の整備に着手しました。

都市計画関係では、中央公園の園路の舗装（歩・車道）を実施。また下水道整備は、中岱都市下水道二幹線を九十四メートル実施しました。

住宅建設は、胡桃館団地に簡易耐火構造二階建を二棟（十二戸）を建設しました。

災害復旧は、五十四年災害二十四カ所、五十五年災害二十一カ所、五十六年災害二十八カ所、計七十三カ所の災害復旧を実施しました。

七座簡水普及率一〇〇・一％

上水道事業については、業務予定量の今年度計画二千六百七十件に対し、年度末加入見込件数は二千六百七十三件

で達成率一〇〇・一％、また全体計画に対する普及率は八

九・一％の見込みとなっております。有収水量率も、現在では八四・六％（前年度八三・一％）と上昇しています。綴子簡易水道事業については、二月末日現在の加入状況が千三百四十一件で普及率九三・八％、一月一件当たり平均使用量は十二・七立方メートルとなっております。

坊沢簡易水道事業については、二月末日現在の加入状況が三百二十六件で普及率八九・八％、一月一件当たり平均使用量は九・六立方メートルとなっております。

七座簡易水道事業については、二月末日現在の加入状況が三百四十六件で普及率は一〇〇・一％、一月一件当たり平均使用量は七立方メートルとなっております。

摩当簡易水道の調査工事については、摩当川流域においてボーリングを行い水量、水質の調査を終え、経営認可申請の事務を残すだけとなっております。

鷹巣小学校敷地を交渉中

鷹巣小学校建築にあたっては、校地約二万七千平方メートルを中岱地区に選定し、鋭意用地買収の交渉にあたっている段階です。また補助金申請等、事務的な手続きについては県を始め、関係機関と綿密な連絡をとりながら、遺漏のないよう進めてまいります。

第二十四町民スキー大会は、二月七日町営薬師山スキー場に選手、役員、応援団などおよそ三千人が参加しました。

五十六年一月から十二月までの一年間の農地移動と農地転用は、農地法第三条による所有権移転が二百四十三件・一万二千九百四十九ア（田九千七百六十四ア、畑三千八百五十五ア）で、前年に比べ二十一件の減（九・二％）、面積では千九百七十三ア増（一・七％）となっております。

自作地百八十八件のうち、五十四件が経営委譲による無償譲渡であり、また四条・五条の農地転用は百十六件・千七百三ア（田三百七十三ア、畑七百ア）で、前年に比べ二十七件の減（八・一％）、面積では二百四十四ア増（二・四％）となっております。

転用実績の主なもの、住宅用地四十一件二百六ア、植林二十五件四百六十九ア、農業用施設等二十八件百八十一アとなっております。

五十七年二月末現在の土地買収は、道路敷地関係で一萬

全町の協力委員会議 予算を圧縮して行政効果を



永年勤続で五氏が表彰

全町の協力委員会全体会議は、三月一日午後一時から鷹巣中央公民館で行われ約百人が出席しました。また七年以上協力委員として貢献された藪田さん他四人が永年勤続者として表彰されました。

はじめに出川町長は、五十六年度の行政全般にわたって報告をし、「国は行政改革により、財政の立て直しを図っている。町でも予算を圧縮しながら行政効果をあげたい。五十七年度は、鷹巣小学校、中央保育園の新築、摩当簡易水道の整備を予定している。一〇五号バイパスは、あけぼの町以南を五十九年度供用開始するよう、用地買収を進めたい」など述べました。また、七年以上協力委員として

貢献された藪田真市（東横町五番三十一号）、保立了（材木町五番一十九号）、七尾隆治（新田中）、渡辺勝藏（南田中）、津幸幸雄（坊沢大町）の五氏が永年勤続者として表彰され、町長から賞状と記念品が手わたされました。各課から連絡事項を説明したあと、質疑応答が行われましたが、主なものは……

▽町内の転入者は、町で確認をし連絡してほしい▽町内転入者は、四月から町で協力委員に連絡する。広報等、町で配布依頼するものは、自治組織の加入有無にかかわらず、每户配布し

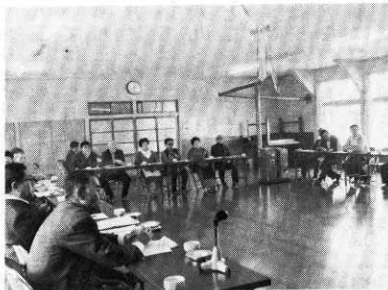
各地区を巡回して開かれてい「町長と語る会」は、栄地区の関係者約三十人が出席して、三月四日午後一時から栄生活改善センターで行われました。出川町長はあいさつの中で、「財政の引きしめの時代だが、水の確保は重要だ。五十七年度は摩当簡易水道を予定している。一〇五号バイパスも山場にさしかかっているので、協力をお願い

町長と語る会

栄地区

「したい」など述べました。続いて各集落、団体から出された要望事項にもとずいて話し合われましたが、主な内容は：▽一〇五号線バイパス開通に伴う交通安全対策 ▽栄財産区会計の農協預託 ▽大沢、李岱間の山崩れの安全対策などについては、実情に対処する方向で検討する。▽栄生活改善センター、太田児童館敷地等の拡張に

ついて集落ごとに地権者の協力を得るよう努力してほしいとしていきます。



- ▽防火用水を整備してほしい▽緊急度の高い所から、年次計画で整備する。
- ▽地籍調査を終えたところは、登記済証の交付で金がかかるので、新たに登記済証は交付しない。したがって、登記事務費用はかかる。
- ▽河川工事）
- ▽工場場所▽綴子字大堤沢地内（大堤川両岸）▽請負額▽五百九十九万円 ▽請負者▽秋田機械建設・知野次郎 ▽工事期限▽三月二十五日

日	内容
28日	大野台開発推進協議会
27日	農協合併研究協議会 町社会福祉協議会理事會 評議員會
25日	歩くスキー 歩くスキー 大野台開発推進協議会
24日	郵政事業に対する感謝 状贈呈式▽仙台市 県町村会定期總會、県町 村土地開発公社設立団体 長會議▽秋田市
23日	長會議▽秋田市
22日	特定交通対策協議會町村 長會議▽秋田市
18日	鷹巣阿仁広域市町村圏組 合會議
16日	合川高校組合會議
2月16日～2月28日	鷹巣町外六カ町村衛生施 設組合會議

町長日誌

大野台の雪原で

雪まつり・歩くスキーを開催



雪まつり広場でゲームに興ずる子どもたち

広大な雪原で自然に親しんでもらおうということから「大野台雪まつり」と「県民歩くスキーのつどい」が、このほど大野台ハイランドで開催され、多数の参加者でにぎわいをみせていました。

たくさんで、訪れた五千人の観衆は夕方の六時すぎまで、大野台の里で雪の祭典を満喫していました。翌二十八日午前十時から、自然に親しみながら、体力づくりをということから、ことして三回目を迎えた「県民歩くスキーのつどい」が行われました。

当日は、時折り雨が激しく降りつける悪コンディションでしたが、晴れ間をぬって、鷹巣スキークラブ員が歩くスキーの基礎を指導。鷹巣阿仁一円から参加した七百人は、胸にゼッケンをつけ熱心に指導を受けていました。

十一時頃には太陽が差し込み、参加者は、体力と年齢に応じて二、六、にわかれて大野台の雪原

を歩き廻りました。夫婦・親子のグループや幼児から老人まで思い思いのペースで林間コースを歩き、途中、流れ出る汗をふきながら三十分から一時間で全員元気にゴール。雪と太陽と汗でさわやかな笑顔が会場に満ちていました。

閉会式では、大野台開発推進協議会長である出川町長から「今回を契機に、常日頃歩くスキーに親しみ、自然を相手に体力づくりをしてほしい」とあいさつ。

終了後は、参加者全員にバッヂと記念品のタオルを贈呈。熱ったかい豚汁と牛乳のサービスを受け、楽しい雪国の行事に終りを告げていました。



歩くスキーのスタート付近

戸島淳子リレー優勝に貢献



田沢湖国体で

アンカー戸島淳子にタッチ(団体女子リレー)

第三十七回冬季国体は二月十八日から二十二日まで、県営田沢湖スキー場で行われました。町からは戸島淳子(女子距離成年一部)米高教・前野団地)石田孝雄(トレーナー)鷹巣教・前野団地)、佐藤英樹(男子距離成年二部)鷹巣教・舟見町)篠内文男(男子距離成年三部)今泉)篠内み子(少年女子大回転)湯沢北三年・今泉)の五選手が出場し、地元国体の期待を担い、それぞれベストをつくして健闘しました。

とくに、戸島選手は、湯沢北日大で大活躍、インカレ、国体全日本で優勝するなど輝かしい成績を取っていますが、一昨年から地元に戻り、高校生を指導しながら「監督兼選手」の一人二役の重責を担っての出場。練習不足を持ち前のフアイトとパワーでカバーし距離では堂々四位に入賞。リレーではアンカーをつとめ、先行する優勝候補筆頭の長野を抜き返して、百び差をつけゴールに飛び込み、気迫で秋田県を優勝に導きました。



読書感想文・体験文コンクール

十九点応募

第十七回鷹巣町読書感想文と読書体験文コンクールの表彰式が、二月二十七日午後一時から、関係者百六十人が出席して中央公民館で行われました。

今回の読書感想文の応募作品は、小学生二百四十三点、中学生六十七点、高校三点、一般二点の計三百五十五点。読書体験文は、小学校四点、中学校四点、一般六点の計十四点。

このなかから、読書感想文は特選七点、入選三十九点、佳作四十六点、読書体験文は入選十一点が選ばれ、長崎久中央公民館長から表彰状が授与されました。

表彰式のあと、よい本を、みんなが読むようにするためには、どうしたらよいかということから、読書座談会がもたれました。

主な内容は、

「どんな時に読みますか」

▽佐藤哲也くん(南小四年)「学校の休み時間と、夕ごはん前に読む。方言や知らない言葉を読むのがおもしろいから。」

▽鈴木真美さん(竜森小六年)「私には父母がいないので、私がごはん仕たくをしている。ミソ汁をつくりながら読むこともある。」

▽佐々木小織さん(鷹小五年)「マンガは想像力が弱くなるので読まないようにする。夏・冬休みに本を読むようにしている。」

「家族で読書していますか」

▽小坂亜紀子さん(東小六年)「祖父母も本が好きなので、話題が一致する。アラスカ物語、徳川家康など、家中みんなが読んでいるのでとても楽しい。」

「読書の利点は」

▽中島麻子さん(中央小六年)「わからない字は辞典を引くようになった。また、人物の生き方考え方などが、自分の生活に生かされる。」

特選・入選者は次のとおりです。

◆読書感想文

【小学一年】▽入選「しまはこ(鷹巣)、田村雄一(中央)、てらたえい子、まついみえ子、つやたか子(西)、さとうせい(南)

【小学二年】▽特選「ヘレン・ケラー」平塚敦子(鷹巣)▽入選「福原正太、石川ゆずる(鷹巣)、田村直子、鳴海到(東)、高坂いづみ(西)、三沢じゅん子、高橋善人(綴子)【小学三年】▽特選

「バイオリンの村」堀口克全(鷹

巣)▽入選「畠山美穂子(鷹巣)、藤島巧鮮(東)、渡部潤、高橋政行(綴子)【小学四年】▽特選「悲劇の少女アンネ」大山真理子(鷹巣)▽入選「五代儀有香(東)、戸嶋淳子(西)、高橋由佳、佐藤有希子(綴子)、佐藤哲也(南)【小学五年】▽入選「原田伸子(鷹巣)、畠山明子(綴子)【小学六年】▽特選「流れる星は生きている」小坂亜紀子(東)▽入選「高坂敦子(東)、中嶋麻子(中央)、藤嶋優子(綴子)【中学一年】▽特選「坂道」成田明子(鷹巣)▽入選「石川奈々子、渡辺志保、戸嶋里美(鷹巣)【中学二年】▽特選「カモメのジョナサン」長谷川明子(鷹巣)▽入選「佐藤千賀子、鎌田博子、松橋薫(鷹巣)、長岐良子、間瀬由美子(鷹巣南)【中学三年】▽特選「泣虫小僧」藤田真紀子(鷹巣南)▽入選「田中希理子(鷹巣)、畠山浩明(鷹巣南)【高校】▽入選「石井礼子(鷹高一年)【一般】▽入選「長崎祐子(坊沢)

◆読書体験文

【小学二年】▽入選「長崎せつ子(西)、畠山正和(綴子)【小学三年】▽入選「塚本健(鷹巣)【小学六年】▽入選「鈴木直美(竜森)【中学校】▽入選「戸沢佳子(鷹巣一年)【一般】▽入選「石沢ゆり子(寺田服装専門学校)、佐藤七郎(深閑)、田村セツ子(岩坂)、畠山恵美子(脇神)、石田洋子(旭町)、大川作五郎(黒沢)

死亡事故異常発生 防ごう交通事故



ことは、交通事故による死亡事故が異常発生しています。二月二十一日現在、県内で八人の死者が出ています。これは昨年同期の四倍にあたり、全国のワースト・ワン(最下位)という、まったく不名誉な記録となりました。

交通事故は、被害者はもちろんですが加害者も不幸になるもので、町民運動として防止に努めなければなりません。

まして尊い命を奪う死亡事故は絶対おこさないよう家庭、職場で注意しましょう。

ことし県内で発生した死亡事故の原因は▽加害者のスピードの出し過ぎ三人▽無理な追越し一人▽酒に酔って道路に寝こみ二人▽直前横断二人となっております、この中で老人三人が被害にあっています。運転者はずっとよ

注意 スリップ・いねむり スピードの出し過ぎ

春とはいえまだ残雪や凍結でスリップしやすい時期です。とくに、朝夕や日陰げ、山間地の運転には十分気をつけましょう。

冬道からの開放で、心が緩みスピードの出しやすい気分になると思いますが、無理なスピード、追越しはやめましょう。

また、ヒーターと太陽でポカポカとぬくもりが付き、いねむりの出やすい季節です。車内の温度を調整すると同時に、長時間の運転はひかえましょう。

国民健康保険者証

4月から番号が変更

住居表示の変更にともない、4月1日から国民健康保険者証番号が変わります。(今までの保険証は、3月いっぱいまで使えません)。

保険係では、下記の日程により保険者証の交付を行いますので、当日は印鑑を忘れないでください。

なお、出かせぎ、学生等で(特学)の保険者証の必要な方は、4月1日以降に保険係で交付します。

※4月に入学される方は、在学証証明書を忘れず持参してください。

またこの変更にとともない、国民健康保険の加入者で老人医療券(浅黄色)を持っている方と、福祉医療券(白色)を持っている方(国保や社保を問わず全員)は、受給者番号が変更になりますので、当日は医療券も持参してください。

交 付 日 程 表

月日	会 場	午前9時~11時30分	午後1時~4時
3.26 (金)	七日市基幹センター	七日市、根木屋敷、横測、中畑、大畑、下舟木、深沢、品類、岩脇、妹尾館、吉ヶ沢、吉野	
	三ノ渡会館		葛黒、三ノ渡、与助岱、明利又、松沢、上舟木、黒森
	綴子基幹センター	下町、大堤、前野団地、小田、田子ヶ沢、松原上町	岩谷、二本杉、大畑糠沢、昭和、向黒沢
3.27 (土)	坊沢公民館	深閑、相善町、羽立、黒沢、街道町、新屋敷町、大町、上町	
	栄生活センター	摩当、李岱、田沢、岩坂、下大沢	
3.29 (月)	鷹巣中央公民館	元町、大町、米代町、松葉町、材木町、花園町、東横町、宮前町、旭町、住吉町、伊勢町	住居表示区域外の旧町、小ヶ田、南田中、川口、湯車、高野尻団地、田中、新田中・太田、掛泥、高野尻緑ヶ丘、あけぼの町
3.30 (火)	今泉生活センター	今泉、蟹沢	
	前山会館		前山、黒沢
	脇神公民館	湯ノ岱、坊山、四渡、中屋敷、脇神、藤株、小摩当、小森、上野	
	南鷹巣会館		南鷹巣、舟場、堂ヶ岱、高村岱、西陣場岱
3.31 (水)	鷹巣町役場保険係	上記日程に更新のできなかった方々	

第十九回町民卓球大会

一般男子 佐藤選手が三連勝

第十九回町民卓球大会は、二月二十八日午前八時三十分から鷹巣体育館で行われました。十種目に延べ三百人が参加し、各部門で実力伯仲の熱戦が展開されました。

試合の結果は、次のとおりです。
(一般男子団体) ①深閑クラブ ②全通A ③秋田土建、職訓校
(一般女子団体) ①ママさんクラブA ②役場 ③ママさんクラブ

PB、木村食品
(一般男子シングルス) ①佐藤博(沢口農協) ②永井正徳(全通) ③中村秋男(秋銀)、福岡正治(役場)
(一般女子シングルス) ①中嶋純子(小ヶ田) ②佐藤栄子(役場) ③桜井光子(北秋土木)、木村恭子(木村食品)
(男子オープン) ①渡部明(秋銀) ②佐藤司(信組) ③佐藤

元範(マルモト)、照内直光(秋北新聞)
(女子オープン) ①日下部まり子(秋銀) ②桜井光子(北秋土木) ③中嶋純子(小ヶ田)
(ベテラン) (三十五歳以上) ①河田弘美(役場) ②高橋正征(全通) ③山内勝正(あけぼの町)、花田広美(役場)
(中高男子シングルス) ①太田昭博(鷹農) ②高橋昌人(鷹農) ③木村尚樹(鷹中)、若狭三樹(鷹高)
(中高女子シングルス) ①福田尚子 ②大高聖子 ③鎌田博子、村上陽子(いずれも鷹中) (ママさんクラブ) ①岸田利子 ②三沢甲江 ③戸島田鶴子、相馬和子

田中さん町営スキー場に

スノーモービルを寄贈



住吉町三番四号タナカスポーツ社長・田中三夫さんは、町営業師山スキー場の管理、運営に役立ててほしいと、スノーモービル一式(六十万円相当)を町に寄贈しました。
寄贈されたスノーモービルは、スキー場の安全パトロールのほか、ケガ人の搬送、用具の運搬、距離コースの整備など広範囲に活用されることから、大変喜ばれています。

公民館のついで

去る二月二十一日、町内親子読書グループ(西地区、栄地区)の方々が、県立児童館、博物館を視察しました。

ねらいは、子ども達に科学する心や、豊かな創造力と情操が養われることを願って、公民館が六



児童館(遊戯室)で遊ぶ読書グループ

年前から実施している事業です。

児童館長(佐藤進氏)の案内で科学教室、子ども教室、プラネタリウム室、児童図書室等を見学しました。

児童館長は、講話の中で次のように話してくれました。

「親子読書感想文というのは、まず、本を選ぶことから始まる。

そのためには、親と子がよく話し合い、目次を見ながら選ぶのが良い。読書時間というのは、なかなか作りにくいものだが、その時間を上手に見つけ出すか、否かで子供の成長に大きく影響する。また、長い文章は、途中で対話(感想)しながら続けるのも効果がある。

一冊の本との出会い、選んだ本

級ですが」と合せて、知性をみがく事になりました。郷土の歴史、町の経済、生活設計等を学習課題にとり入れて勉強しました。今では、美と知を兼備した学級と自負しています。

学級紹介

駅前婦人学級

子ども会等で、顔を合わせている仲間が、私達自身の為にも何か勉強したい」という事から、昭和四十八年に、この学級が誕生しました。

最初は仲間づくりが主でしたが「駅前は町の顔、私達の応対一つで町の印象が決まる」と、顔の美しさ(もともと、美人ぞろいの学

を通して、親と子がその感想を出し合えるのは、人間だけである。頭をかかえて、まとめあげたであろう感想文には、親と子の「感ずる心」と「考える心」が秘められており、読む人にすばらしさと感動を与えるものである。

参加された人達は、今まで何げなく与え、何げなく読ませていた本に、それほどの大事さがある事を知り、あらためて、本のもつ力を知らされた思いでした。

また、プラネタリウムの観察室では、一緒に参加した子ども達のおどろきの声でいっぱいでした。

◆3月の公民館行事

- 3月21日(土) 10時 ホール 若妻学級総会
- 3月25日(木) 1時 3階大教室 運審、館長、主事合同研修
- 3月28日(日) 9時 坊沢公民館 第八回坊沢公民館まつり

張りたいと思います。

(会長 長谷川 照子)

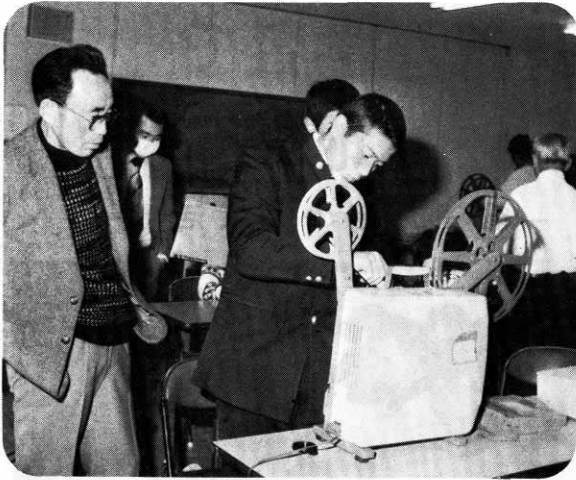


郷土史年表

(50)

昭	和	時	代	西	年	事
		一九二九	昭和四	西	曆	一九二六
					号	昭和三
						事
						項
						<ul style="list-style-type: none"> ○七月 沢口村では学校移転問題で村内紛糾す ○八月十六日 鷹巣・摩当・真中を結ぶ路線が県道に認定される ○十月 農林学校校歌制定 ○十月十九日 鷹巣小学校児童保護者会創立 ○十一月十日 今上陛下即位の大典 ○十二月二十三日 鷹巣小学校、増築校舎の落成式 ○松葉町街路延長および材木町、仲町間道路開く ○三月 栄小学校内に村立図書館を付設す ○三月 私立鷹巣病院を元郡役所に設立す ○四月一日 栄小学校に高等科設置 ○四月 鷹巣木炭支所設置 ○五月八日 沢口小学校 高森塚ノ岱(現在小摩当部落のある所)に移転新築落成、児童五五〇名 一〇学級 ○七月二日 町田忠治、浜口内閣の農林大臣となる ○七月五日 菊地慎三(愛媛県出身)秋田県知事に任命 ○前山駅、信号所として開設 ○九月 県会議員に成田直二郎 当選 ○十月二十四日 アメリカ・ニューヨークで株式市場大暴落、世界恐慌拡大す ○十一月 鷹巣町で御大札記念植林、六町七反歩に落葉松、アカシヤ二万五千本造林

(次号へつづく)



16ミリ講習で技術を取得

16ミリ映写機操作技術講習会は、2月24、25の両日中央公民館で行われました。

講習会には、高校生や学校教育、社会教育関係者約60人が参加。理論学習、映写機の操作、フィルムの接着方法などを修得し、視聴覚教育に役立てようと熱心に受講していました。講習終了後には、全員検定試験を受け、合格者には「認定証」が交付されました。

第7回子ども会タコあげ大会は、全町から27チームが参加し2月27日鷹巣体育館近くの田圃で行われました。この大会は、タコの図柄や上がった高さ、安定度を3分間で競い合うもので、1組5人の子供が、雪のうえを走り回って大空高く舞い上がらせていました。予選、決勝方式で行われた結果、優勝・駅前A、準優勝・福住町A、三位・日の丸A

タコあげで駅前Aが優勝



農協合併研究協議会が発足

町内6農協の合併について調査、研究するため、鷹巣町農協合併研究協議会を発足させ、2月27日午前10時から役場三階で初会議を開催しました。昨年からの農協役員全員による懇談会や、代表による会議を開いていましたが、具体的な促進をはかるため協議会を発

足。規約、予算の承認と、役員は、会長に出川町長、副会長に、沢口、綴子農協組合長を選出しました。

田中地区では、地域の先輩の功績をたたえようという事で2月28日正午から田中総合センターで敬老会

が開かれました。当日は、70歳以上のお年寄り23人が参加、自治会では料理やお酒でもてなしをしたほか、県無形文化財指定の「猿倉人形」子供会のピアノ演奏や歌で長年郷土のため動いてくれた労をねぎらっていました。

郷土の先輩をたたえ敬老会



身近な学習で 地域づくり

— 綴子地区の婦人活動 —



講師 藤内政雄さん(町副議長)
▽午後「牛乳を使った料理」シチュウ、牛乳味噌汁他二品 講師 越後静さん(改良普及所)
現地を見ながら

野菜づくりを学ぶ

野菜はなれの傾向が心配されている昨今、綴子地区の婦人たちは土に親しみ、野菜づくりを楽しみ新鮮なビタミン供給源としての有色の野菜を食卓にのせようと、計画的な学習会をすすめている。

春には農協で専門の先生を招き土壌づくり、品種の選び方、種まき、苗の育て方などを学んでいる。夏には、それぞれ現場を見ながら、病虫害の防除法など実施に研修している。秋には加工法、貯蔵法などを、お互い持っている技術を出し合いながらの勉強をしている。

さらに、それが地区や全町の産業祭や、生活工夫展に出品され、高く評価されている。

貸衣装の収益金も

ひと役買って

綴子婦人会では、結婚披露のための経費をできるだけ軽くするために、貸衣装を備えつけているがよく利用され、その収益金が会運営に大きく役立っている。

学習活動の費用は、会費、農協

からの補助、そして貸衣装の収益金であるが、自分たちの勉強は、自分たちのお金で、というこの考え方は、地域づくりの将来展望を明るくしている。

綴子地区では婦人会・農協婦人部・各部落の婦人学級が一体となって「明るく豊かな地域づくり」のために計画的な学習活動をすすめている。

自家生産物利用料理と

くらしの教室

このたび、綴子基幹集落センターを会場に、四回にわたり「冬季講座」を開設したところ、毎回四五十人が参加し大好評であった。

第一回 二月五日(金曜日)

▽午前「米の利用料理」手軽にできるおやつ作り方、焼き餅、他講師 三沢貴代代さん(田中)志▽午後「これだけは身につけておかなければいけない家庭看護法」老後にそなえて』講師 千葉祥子

さん(役場保健婦)

◆第二回 二月十日(水曜日)

▽午前、「卵を使った料理」四品つくり方、講師 金イマさん(森吉町)

▽午後「体力づくりを楽しく、健康のための踊り教室」米とき唄、佐渡おけき 講師 稲葉イネさん(田代町)

◆第三回 二月十五日(月曜日)

▽午前、「米の粉料理」大福餅、すまし餅、他二品、講師 山内トミエさん(向黒沢)

▽午後「いつも健康で過すためにつかれとり」、腰痛、腰まがり予防の方法、講師 吉田光一さん(中央病院)

◆第四回 二月十九日(金曜日)▽午前 講演「北欧を視察して」

ふるさと 人物伝 22

三沢元

一八七九—一九六九



三澤元氏は明治十二年、綴子大堤の三澤家に生まれ、幼名を宇吉といっていたが後、元と改名、田中の三澤家に養子となる。明治三十二年、秋田師範、簡易科(二年)を抜群の成績で卒業する。師範創立百周年に彼の成績表が展示されたとき、十三教科全部が学級の最高で、平均点が九十七点で、常に学級のトップであった。

卒業後は鷹巣・大館の小学校に訓導として勤務。明治三十九年二十八歳で山田小学校長(田代町)に抜てき任命された。山田小学校は校舍焼失直後で農家を借りての分散授業であったが部下職員と共に一意専心、児童

の訓育に努め、在勤五年間に後日全県下の産業界・官界の人物なる人材を出している。

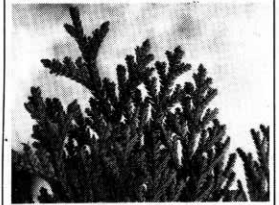
その後釈迦内小、鷹巣小、米内沢小学校を経て昭和五年三月再び鷹巣小学校長兼町立実科女学校長となる。学校長としての彼は謹言実直、不言実行、そのもので、毎日提出される部下職員の指導案に的確な文章でキチンと指示し余計なことは一言もいわない人であった。校舎周辺の整備作業も、常に陣頭に立つて黙々と働く人であった。今、児童公園にある大樹は、彼が校長時代に児童の卒業記念に植えたものを移したものである。

昭和七年一月、県の天下り人事でポストをあげなければならず、教職を去り、十四年から十八年まで綴子村長に就任する。村の発展はまず道路から、と村民待望の鷹巣までの道路の大改修を果に陳情し、戦争のさなかはこの大事業をなしたげた。戦後は、昭和二十七年四月から、秋田服装専門学校北秋分校主任(鷹巣仲町)として四年勤務、八十歳を過ぎてから綴子村史の編さんにとりかかり、自ら委員長となり資料を集め刊行する。

常に姿勢を正しキチンとした方であった。
(資料 三澤元功績調査書、並びに二階堂善三氏談)

中央公民館長 長崎 久

みんなの広場



あすなろ

「明日はヒノキになる」という意味らしいが、俗説ともいう。鷹農付近で見られる。栽培。

(理科センター・阿部達雄先生)

私の歩いてきた

P T A

川口 中嶋 洋子 (37)



春の訪れと共に卒業の日が近づいてきました。長男

は「いい先生に恵まれて」学校生活を終えようとしています。思えば私とPTAとのかかわりの九年間でもありました。小学校入学と同時に会員になり何もわからないまま、ただ活動に参加したように思います。心のど

こかに「PTAって何だろう」と疑問が湧いて、そのうちにわかるだろう、と何年か過ぎてしまいましたが、そのことを何人にも聞いかけて話も聞きました。本も読みました。その頃(七年前)になりました。うか)テレビに「お母さんの勉強室」があることを知りました。本では得られないものを感じ利用したことを思い出します。役員に選ばれ、焦点ボケのままの私は、それでも研修会に、活動にと積極的に出かけるようになりました。役員だけのPTAとか、会員の意識が低くて集まりが悪いとかよく言われます。そのために苦勞して人集め作戦が行われているのが現状です。こんなことを考えてき

広報のあじ

牛乳の日付

牛乳を買う時、たいていの人が日付を確かめているようです。できるだけ新しいものをと、当日の日付を探している人も見かけますが、現在では、当日の日付のものはない

といったいいでしょう。牛乳には、製造年月日を表示することが厚生省令で決められています。製品は検査を受け、翌日、その結果が出てから出荷されますので、販売店に到着し、消費者の手に入るのは、二、三日後になります。最近では製造技術も進み、衛生管

理のゆき届いた工場処理されているので、それほど神経質にならなくても、開封前なら十度C以下の冷蔵庫で製造日から一週間、開封してから二日間を保存のためやすとしておけば、まず安心です。ヨーグルトなど乳酸飲料は、開封前なら十度C以下の冷蔵庫内で、約十日間はだいじょうぶです。

たかのす文芸

レース

電森小学校六年 藤本 恵子

粉雪がとぶ
前の人が走った
私は一番最後だ
足がふるえる

「前の人、こせるかなあ」

なんとなくいやな気持ちになった

よしいくぞ

「スタート」

始めは思いっきり走った

コースに入りスキーをすべらせた

だんだん応援の声が小さくなる

背中を汗ながれる

バフライ、一人こした

でもあとを追ってくる

最後の坂が心配だ

あと一息、ころんだ

でもゴールだったのでよかった

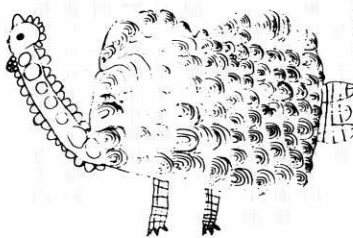


くしま たかふみくん (6歳)

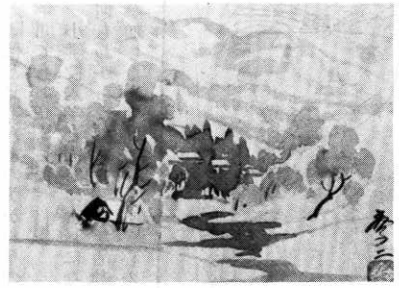
ぼくの絵 わたしの絵

七日市保育園

さとう なおみちゃん (6歳)



おしらせ



一級美術会連盟委員 九島幸二氏

三月の健康相談

成人健康相談は、二十四日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。場所は、中央公民館保健相談室。

乳児健康相談は、十八日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日。場所は、中央公民館保健相談室。

離乳食実習指導は、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日。場所は、いずれも鷹巣保健所。

固定資産課税台帳

縦覧期間が延期に

固定資産課税台帳の縦覧期間は、従来三月一日から二十日まででしたが、今年度地方税法の改正が行われる予定になっていますので、五十七年度分の縦覧期間は一月月延期の予定です。お知らせいたします。

間伐講習会

町森林組合青年部では、三月二十八日午前八時三十分から、良質材生産のための間伐講習会を開きます。

場所は、綴子字高野尻地内(旭ヶ丘団地付近)ですが、受講ご希望の方は現地へ集合してください。

県育英会寮への入寮希望者募集

秋田県育英会では、県内出身で、本年四月大学に入学を許可された学生を対象に、東京都、川崎市、札幌市にある寮への入寮希望者を募集しています。

- 【東京都】 東京都世田谷区
- 募集人員 約三十人
- 出願期限 三月二十五日
- 出願先 秋田市山王四丁目
- 秋田県教育庁内 秋田県育英会
- 選考 四月四日(日) 午前九時から東京寮で面接

▽入寮負担月額 寮費一万千円、自治会費五百五十円、食費約一万五千円(二食)

【川崎寮】 川崎市中原区

- 募集人員 女子学生約二十人
- 出願期限 三月二十日
- 出願先 東京寮と同じ
- 選考 三月二十六日(木) 午前十時から秋田東高等学校で面接
- 入寮負担月額 寮費約八千円、食費約一万六千円(二食)

【北盟寮】 札幌市中央区

- 募集人員 男子学生約二十人
- 出願期限 三月二十五日
- 出願先 東京寮と同じ
- 選考 書類選考のみ
- 入寮負担額 寮費約九千円、食費約一万四千円(二食)
- ※提出書類等、くわしいことについては、秋田県育英会(電話秋田六〇一―二一八三)へ。

いずれの寮も、入寮時に別途一万円を納入していただきます。

国民金融公庫 進学ローン

国民金融公庫では、入学金、授業料などの学校納付金、受験のための費用、下宿の敷金など進学に際し必要な資金として、進学ローンの貸付をいたします。

- 融資額 五十万円以内
- 利率 年八・五%(見込み、ただし利率は変わることがある)
- 所得制限 給与所得者は年間収入が五百六十万円以内、事業所得者は四百万円以内
- 返済期限 学校の修業年限以内

なお、前年までの一年間の収入が超える場合でも、当年の収入が制限以内となることが見込まれる時は、融資の対象となります。くわしくは、国民金融公庫大館支店(電話 大館四二―三四〇七)へお問い合わせください。

新町内協力委員紹介

▽鷹巣地区 学校通 成田シノ

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

- ▽今泉 成田ツエさんから亡夫春美さんの香典返し 二〇,〇〇〇円
- ▽向黒沢 畠山友治さんから亡妻ミヤさんの香典返し 二五,〇〇〇円
- ▽脇神 花田末治さんから亡父長四郎さんの香典返し 三〇,〇〇〇円
- ▽糠沢 太田貞雄さんから亡父音吉さんの香典返し 一〇〇,〇〇〇円
- ▽田子ヶ沢 齋藤直一さんから亡母ソヨさんの香典返し 三〇,〇〇〇円
- ▽東横町 成田シノさんから亡長男一男さんの香典返し 五〇,〇〇〇円
- ▽材木町 熊谷高夫さんから亡父



2月15日〜2月28日

誕生おめでとうございます

- 佐藤 亘(則光 長男) 材木町
- 戸沢 香菜子(英昭 長女) 前山
- 村井 利行(昭利 二男) 松葉町
- 武内 紳也(睦夫 二男) 松葉町
- 畠山 雅彦(茂幸 二男) 藤株

- 二人の前途を祝福いたします
- 佐藤 弘美 合川町
- 柏木 テイ子 上舟木

おくやみ申しあげます

- 熊谷 辰蔵(83歳) 材木町
- 大川 ミエ(77歳) 花園町
- 高橋 ミネ(73歳) 上町